

第 12 回

---

# 清瀬市政世論調査

---

(平成 20 年 7 月実施)

東京都清瀬市



## はじめに

清瀬市では、市民との協働によるまちづくりを進めるため、市報等による広報や市長への手紙をはじめとする広聴の充実を図るなど、市民の市政に対する理解と関心を高め、多くの市民の意見を施策等に反映させるよう努めております。

そうしたなか、より効果的に市政を進めていくためには、市民の意識や意向を定期的に調査し、把握する必要があることから、市では3年に一度、世論調査を実施しております。

今年は、第12回の調査の実施年にあたることから、無作為で抽出した20歳以上の市民1,000人の皆さまに対し調査用紙をお届けし、ご協力をお願いしたところでございます。

今回の調査で得られた分析結果は、それぞれの分野で基礎資料として有効に活用し、今後の行政施策に反映させていきたいと考えております。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力いただきました市民の皆さまに心からお礼を申し上げますとともに、今後とも市政にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年9月

清瀬市長 星野 繁



# 目 次

I 調査実施の概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査内容	3
4. 報告書の見方	3
5. 回収結果	4
6. 標本誤差	4
II 調査回答者の属性	7
1. 性別	7
2. 年齢別	7
3. 就業形態別	7
4. 職種／職業別	8
5. 勤務地別	8
6. 居住年数別	9
7. 住居形態別	9
8. 同居家族数別	9
9. 町名別	10
III 調査票・単純集計結果	13
IV 調査結果の分析	37
1. 居住継続意思	37
2. 生活環境評価	42
3. 将来のまちのイメージ	53
4. 市政への関心	58
5. 市民参画	61
6. コミュニティ	67
7. 広報	71
8. インターネット環境	93
9. 電子自治体	104
10. 緑の保全・育成	107
11. 公園管理	109
12. 防災対策	111
13. ごみの減量とリサイクルの推進	113
14. 消費者対策	115
15. 高齢者対策	117
16. 障害者福祉	121
17. 子育て支援	123
18. 健康	125

19. 生涯学習	127
20. 市民サービス	133
21. 男女平等参画社会	135
22. 行財政改革	138
23. 重点施策	140
24. 公共施設	146
V 調査結果の集計表	153

## I 調査実施の概要

---



# I 調査実施の概要

## 1 調査目的

市民の生活環境に対する評価、市政への関心、要望、意見などを把握し、平成20年度以降のまちづくりを計画的に進めていくための、基礎的な資料を得ることを目的とする。

## 2 調査設計

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| (1) 調査地域 | 清瀬市全域                   |
| (2) 調査対象 | 清瀬市在住の満20歳以上の男女個人       |
| (3) 標本数  | 1,000人                  |
| (4) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出          |
| (5) 調査方法 | 郵送法（郵送配布－郵送回収・封書で督促を1回） |
| (6) 調査時期 | 平成20年7月1日（火）～7月31日（木）   |

## 3 調査内容

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| (1) 居住継続意思     | (13) ごみの減量とリサイクルの推進 |
| (2) 生活環境評価     | (14) 消費者対策          |
| (3) 将来のまちのイメージ | (15) 高齢者対策          |
| (4) 市政への関心     | (16) 障害者福祉          |
| (5) 市民参画       | (17) 子育て支援          |
| (6) コミュニティ     | (18) 健康             |
| (7) 広報         | (19) 生涯学習           |
| (8) インターネット環境  | (20) 市民サービス         |
| (9) 電子自治体      | (21) 男女平等参画社会       |
| (10) 緑の保全・育成   | (22) 行財政改革          |
| (11) 公園管理      | (23) 重点施策           |
| (12) 防災対策      | (24) 公共施設           |

## 4 報告書の見方

- (1) 図表中のnとは、回答者総数（または該当質問での該当者数）のことである。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%を前後する場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) SQ（Sub-Question）とは、前問で特定の回答をした一部の回答者に対して行った設問である。
- (5) 地域については、市内を11地区に分類した。

## 5 回収結果

(1) 標本数	1,000 人
(2) 有効回収数	661 人
(3) 有効回収率	66.1%

## 6 標本誤差

今回調査は、調査対象となる母集団（清瀬市全域に住む満 20 歳以上の男女）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがある。

標本誤差は次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

$N$  = 母集団数  
 （平成 20 年 7 月 1 日現在の  
 清瀬市の 20 歳以上人口 = 59,556 人）  
 $n$  = 比率算出の基数（回答者数）  
 $p$  = 回答の比率（%）

例えば、回答者総数（661 人）を 100% とする比率について、ある質問の回答の比率が 50% であった場合の標本の誤差を計算すると、

$$\pm 1.96 \sqrt{\frac{59,556-661}{59,556-1} \times \frac{50(100-50)}{661}} = 3.79$$

したがって、± が誤差の範囲となる。

つまり、回答者総数（661 人）を 100% とする比率で、ある質問の回答が 50% のとき、清瀬市民（満 20 歳以上）のこの質問に対する回答は、46.21%～53.79%の間にあると考えてよい。

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

	回 答 比 率				
	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
661 票	±2.27	±3.03	±3.47	±3.71	±3.79
500 票	±2.62	±3.49	±3.99	±4.27	±4.36
350 票	±3.13	±4.17	±4.77	±5.10	±5.21
200 票	±4.13	±5.51	±6.32	±6.75	±6.89
100 票	±5.85	±7.80	±8.93	±9.55	±9.75
50 票	±8.27	±11.03	±12.63	±13.50	±13.78

（この表の計算式の信頼度は 95%である。）

## Ⅱ 調査回答者の属性

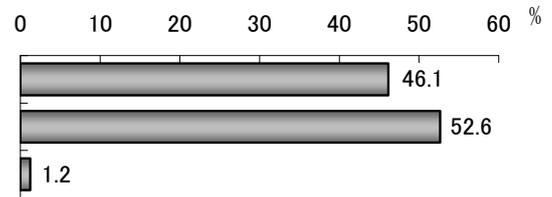
---



## Ⅱ 調査回答者の属性

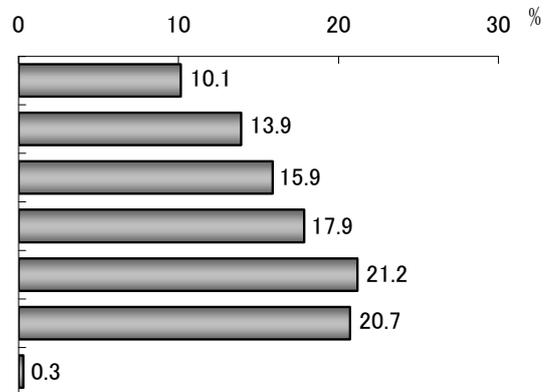
### 1 性別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 男性	305	46.1
2 女性	348	52.6
(無回答)	8	1.2
合 計	661	100.0



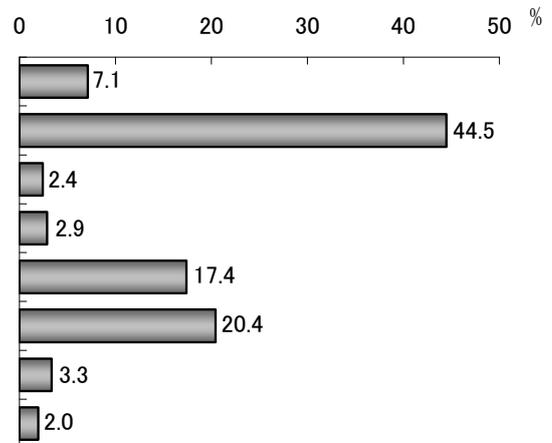
### 2 年齢別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 20歳～29歳	67	10.1
2 30歳～39歳	92	13.9
3 40歳～49歳	105	15.9
4 50歳～59歳	118	17.9
5 60歳～69歳	140	21.2
6 70歳以上	137	20.7
(無回答)	2	0.3
合 計	661	100.0



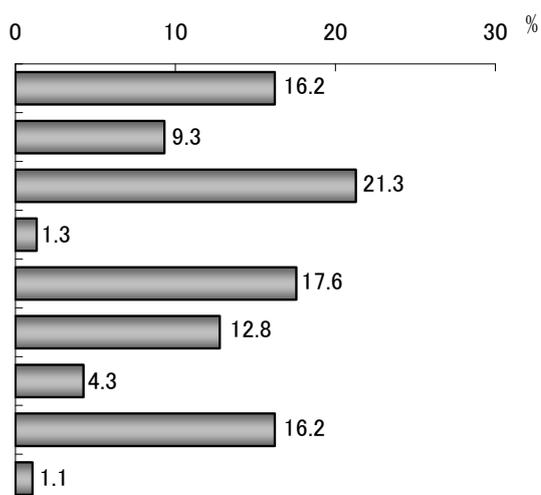
### 3 就業形態別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 事業主	47	7.1
2 勤め	294	44.5
3 家族従業	16	2.4
4 その他の就業	19	2.9
5 無職	115	17.4
6 主婦	135	20.4
7 その他	22	3.3
(無回答)	13	2.0
合 計	661	100.0



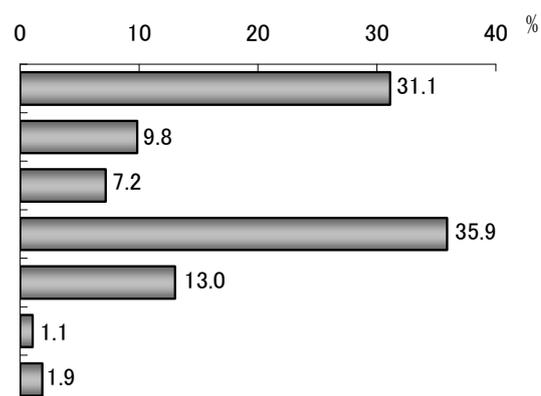
4 職種／職業別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 専門技術職 (教員・医師・専門技術者など)	61	16.2
2 管理職 (官公庁や会社の役員、部課長など)	35	9.3
3 事務職 (官公庁や会社などで事務・調査などを行っている方)	80	21.3
4 農業 (農業従事者)	5	1.3
5 労務職 (現業の労務に従事している方、職人、運転手など)	66	17.6
6 販売業 (食品販売、商品中立人、外交員など)	48	12.8
7 サービス業 (理容、美容、家政婦など)	16	4.3
8 その他	61	16.2
(無回答)	4	1.1
合計	376	100.0



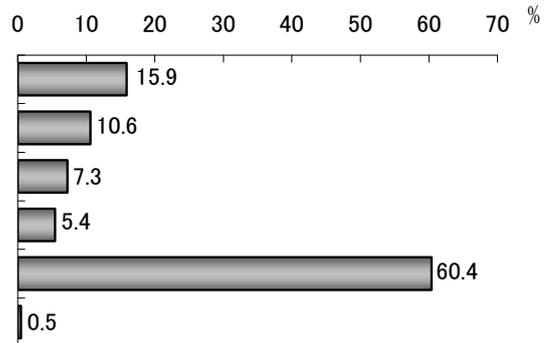
5 勤務地別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 清瀬市内	117	31.1
2 隣接地 (東村山市・小平市・東久留米市・西東京市)	37	9.8
3 上記以外の多摩地区	27	7.2
4 東京23区	135	35.9
5 他県	49	13.0
6 不定	4	1.1
(無回答)	7	1.9
合計	376	100.0



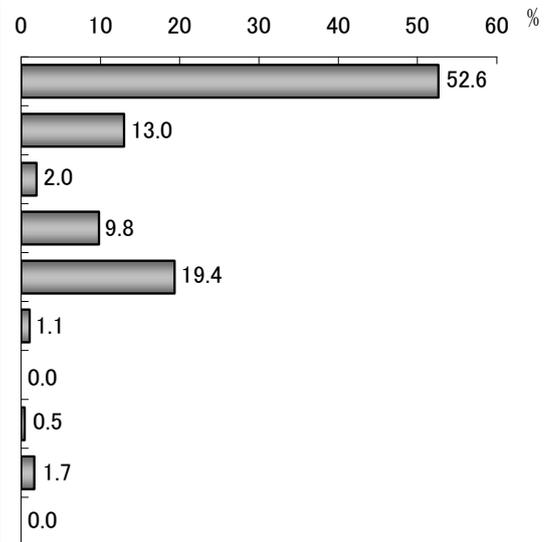
6 居住年数別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 5年未満	105	15.9
2 5年以上10年未満	70	10.6
3 10年以上15年未満	48	7.3
4 15年以上20年未満	36	5.4
5 20年以上	399	60.4
(無回答)	3	0.5
合計	661	100.0



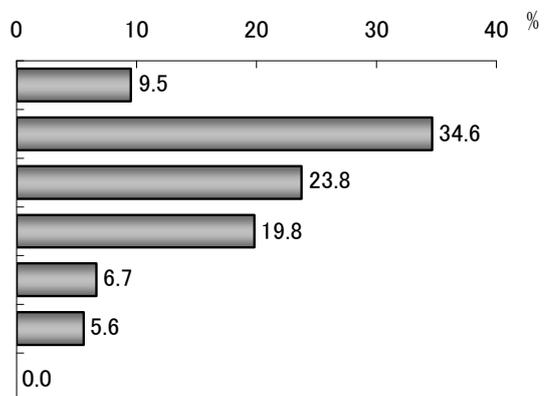
7 住居形態別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 持ち家 (一戸建て)	348	52.6
2 分譲マンション・分譲 アパート	86	13.0
3 民間の借家 (一戸建て)	13	2.0
4 民間賃貸マンション・ アパート	65	9.8
5 公共借家 (都営・都市再 生機構・公社・市営)	128	19.4
6 社宅・公務員住宅	7	1.1
7 間借・下宿	0	0.0
8 寮・住み込み	3	0.5
9 その他	11	1.7
(無回答)	0	0.0
合計	661	100.0



8 同居家族数別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 1人	63	9.5
2 2人	229	34.6
3 3人	157	23.8
4 4人	131	19.8
5 5人	44	6.7
6 6人以上	37	5.6
(無回答)	0	0.0
合計	661	100.0



9 町名別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 上清戸	26	3.9
2 元町	68	10.3
3 中清戸	68	10.3
4 下清戸	36	5.4
5 下宿	31	4.7
6 旭が丘	60	9.1
7 中里	119	18.0
8 野塩	71	10.7
9 松山	71	10.7
10 竹丘	85	12.9
11 梅園	25	3.8
(無回答)	1	0.2
合 計	661	100.0

